

令和6年度
結婚・子育てに対する
県民の希望と幸福度調査

※注1 本調査票は現時点での案であり、確定版ではありません。

※注2 調査は WEB 回答のみで実施するため、調査票を紙面にて配布することはありません。調査対象者には、本調査票を基に作成したインターネット回答用の電子媒体(PC 版・スマートフォン版)の調査票により回答していただきます。

問1 あなたの性別について、次の中からあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

1. 男性	2. 女性	3. 答えたくない
-------	-------	-----------

問2 あなたがお住まいの市町村について、下の表のあてはまる市町村の番号を1つ選んで○をつけてください。

県北地域	1. 福島市 2. 二本松市 3. 伊達市 4. 本宮市 5. 桑折町 6. 国見町 7. 川俣町 8. 大玉村
県中地域	9. 郡山市 10. 須賀川市 11. 田村市 12. 鏡石町 13. 天栄村 14. 石川町 15. 玉川村 16. 平田村 17. 浅川町 18. 古殿町 19. 三春町 20. 小野町
県南地域	21. 白河市 22. 西郷村 23. 泉崎村 24. 中島村 25. 矢吹町 26. 棚倉町 27. 矢祭町 28. 塙町 29. 鮫川村
会津地域	30. 会津若松市 31. 喜多方市 32. 北塩原村 33. 西会津町 34. 磐梯町 35. 猪苗代町 36. 会津坂下町 37. 湯川村 38. 柳津町 39. 三島町 40. 金山町 41. 昭和村 42. 会津美里町
南会津地域	43. 下郷町 44. 檜枝岐村 45. 只見町 46. 南会津町
相双地域	47. 相馬市 48. 南相馬市 49. 広野町 50. 檜葉町 51. 富岡町 52. 川内村 53. 大熊町 54. 双葉町 55. 浪江町 56. 葛尾村 57. 新地町 58. 飯舘村
いわき地域	59. いわき市
(その他)	60. その他県外(県名_____)

問 3 あなたは、親(配偶者・パートナーの親も含む)と同居していますか。次の中からあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

親 と の 同 居	1. 親と同居している(配偶者・パートナーの親も含む) 2. 親と別居している(親は同じ市町村に住んでいる) 3. 親と別居している(親は他の市町村(国外・県外も含む)に住んでいる) 4. 現在、親はいない(死別等)
-----------------------	---

問 4 あなたは、現在、結婚(事実婚・内縁含む)していらっしゃいますか。次の中から 1つだけ○をつけてください。1に○をつけた方は問5へ、2に○をつけた方は問32(16ページ)の設問へお進みください。

1. 既婚(事実婚・内縁・離別・死別を含む)	2. 未婚
------------------------	-------

- ◆ 以降は既婚の方(問4で1とお答えの方)へのご質問となります。未婚の方(問4で2とお答えの方は問32(16ページ)にお進みください。なお、離別・死別されている方は配偶者・パートナーの現況については回答不要です。
- ◆ 立ち入った内容も含まれますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。
- ◆ 問5から問8まではあなた方ご夫婦・カップルの年齢など、基本的な事項についておうかがいします。

問 5 あなた方ご夫婦・カップルの①年齢(2024年4月1日現在)、②結婚を届け出た年(届出をしていない事実婚・内縁の方は結婚生活を始めた年)、③初婚・再婚の別(再婚の方は初婚の年)について、下線の欄に数字を記入してください。また③についてはあてはまる番号に○をつけ、2に○をつけた方は下線の欄に数字を記入してください。

	①年齢	②結婚を届け出た年	③初婚・再婚の別
あなた	____ 歳	西暦____年 ____月	1. 初婚 2. 再婚(初婚____歳)
配偶者・ パートナー	____ 歳		1. 初婚 2. 再婚(初婚____歳)

問 6 あなた方ご夫婦・カップルについて、それぞれ①在学・卒業の別と、②その学校について、
あてはまる番号1つに○をつけてください。

	①在学・卒業の別	②在学中の方→現在在学中の学校 卒業の方→最後に卒業した学校
あなた	1. 現在、在学中(休学等を含む) 2. すでに卒業	1. 中学校 2. 男女共学の高校 3. 男女別学の高校 4. 専修・専門学校 5. 短大・高専 6. 女子大学 7. 共学の大学 8. 大学院 9. その他()
配偶者・ パートナー	1. 現在、在学中(休学等を含む) 2. すでに卒業	1. 中学校 2. 男女共学の高校 3. 男女別学の高校 4. 専修・専門学校 5. 短大・高専 6. 女子大学 7. 共学の大学 8. 大学院 9. その他()

問 7 あなた方ご夫婦・カップルのおつとめの状況についておたずねします。あなたと配偶者・
パートナーの結婚当時と現在の①おつとめの状況、おつとめの場合(1 から 4 に○をつけ
た方)は②職種、③おつとめ先の従業員数について、回答欄のあてはまる番号 1 つに○を
つけてください(お仕事が複数の場合、主たる仕事を対象)。

※ ②職種の概要と例を 32 ページに掲載しておりますので参考としてください。

	おたずねの時期 ←	①おつとめの状況						②職種											③おつとめ先の従業員数						
		1 正規の職員	2 パート・アルバイト	3 派遣・嘱託・契約社員	4 自営業種・家族従業者・内職	5 無職・家事	6 学生	1 管理的職業	2 専門的・技術的職業	3 事務職	4 販売職	5 サービス職	6 保安職	7 農林漁業従者	8 生産工程従者	9 輸送・機械運転従者	10 建設・採掘従者	11 運搬・清掃・包装等従者	1 1～9人	2 10～29人	3 30～99人	4 100～299人	5 300～999人	6 1000人以上	7 官公庁
あなた	結婚当時	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	1	2	3	4	5	6	7
	現在	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	1	2	3	4	5	6	7
配偶者・ パートナー	結婚当時	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	1	2	3	4	5	6	7
	現在	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	1	2	3	4	5	6	7

★①で1～4に○をつけた方のみ、あてはまる番号に○をつけてください。

問 8 あなた方ご夫婦・カップルの現在のお仕事(収入を伴うもの。複数ある場合、主たる仕事
が対象)についておたずねします。次の①から④には該当する数字を記入し、⑤については、
あてはまる番号1つに○をつけてください。

【あなた】	あなたのお仕事について (収入を伴う仕事に就いている場合ご記入ください)
① 勤務する日1日の 平均的な労働時間	1日あたり平均_____時間_____分 ※残業時間を含めてください。
② 帰宅時間 (自営業は就業時間)	1. 午前 } _____時頃 ※午前・午後・不規則のいずれかに○をつけてください。 2. 午後 } ※1か2を選んだ方は平均的な帰宅時間 3. 不規則 (0~12時までで表記)を記入してください。
③ 1週間の平均的な 労働日数	週あたり平均_____日
④ 現在の仕事の勤続 または継続年数	およそ_____年 ※1年未満の場合は1年としてください。
⑤ 昨年(2023年)の年収 ※あてはまる番号1つに○ をつけてください。	0. 1~99万円 1. 100万円台 2. 200万円台 3. 300万円台 4. 400万円台 5. 500万円台 6. 600万円台 7. 700万円台 8. 800万円台 9. 900万円台 10. 1,000万円以上 11. なし

【配偶者・ パートナー】	配偶者・パートナーのお仕事について (収入を伴う仕事に就いている場合ご記入ください)
① 勤務する日1日の 平均的な労働時間	1日あたり平均_____時間_____分 ※残業時間を含めてください。
② 帰宅時間 (自営業は就業時間)	1. 午前 } _____時頃 ※午前・午後・不規則のいずれかに○をつけてください。 2. 午後 } ※1か2を選んだ方は平均的な帰宅時間 3. 不規則 (0~12時までで表記)を記入してください。
③ 1週間の平均的な 労働日数	週あたり平均_____日
④ 現在の仕事の勤続 または継続年数	およそ_____年 ※1年未満の場合は1年としてください。
⑤ 昨年(2023年)の年収 ※あてはまる番号1つに○ をつけてください。	0. 1~99万円 1. 100万円台 2. 200万円台 3. 300万円台 4. 400万円台 5. 500万円台 6. 600万円台 7. 700万円台 8. 800万円台 9. 900万円台 10. 1,000万円以上 11. なし

問 9 あなた方ご夫婦・カップルのお子さんについておたずねします。お子さんの人数について記入(お子さんがおられない方は 0 としてください)のうえ、長子と末子の年代のあてはまる番号に○をつけてください(お子さんが 1 人の方は長子の欄にのみ記入してください)。

※ 2024年 4 月 1 日現在(令和 6 年度入・進学時点)

全員で	_____人								
	お子さんの年代								
	0～3歳未満	3歳～小学校入学前	小学生(1～3年生)	小学生(4～6年生)	中学生	高校生・高専生	専修・専門学校生	短大・大学・大学院生	就職している
長子	1	2	3	4	5	6	7	8	9
末子	1	2	3	4	5	6	7	8	9

※お子さんが1人の場合は長子のみ記入してください。

◆ 問 10 から問 11 まではあなた方ご夫婦・カップルの出会い・結婚のきっかけなどについておたずねします。

問 10 あなた方ご夫婦・カップルはどのようなきっかけでお知り合いになりましたか。次の中からあてはまる番号を 1 つ選んで○をつけてください。

出会いのきっかけ	1. 職場や仕事の関係、アルバイト先	7. 民営の結婚相談所、インターネット上の婚活サイト
	2. 幼なじみ、隣人関係	8. マッチングアプリ・SNS
	3. 学校	9. 自治体が主催する婚活イベントや結婚支援サービス(マッチングシステムなど)
	4. 学校以外のサークル、習い事	10. パーティや合コン
	5. 見合い(親戚、上司の紹介も含む)	11. その他(_____)
	6. 友人や兄弟姉妹の紹介	

問 11 あなたが結婚を決めた理由は何ですか。下の理由のうちから、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由には◎をつけてください。

※最も重要な理由には◎	1. 好きな人と一緒に生活をしたかったから	10. 両親や知人など周囲にした方がよいと言われたから
	2. 子どもが欲しかったから	11. 好きな人と同じ名字・姓にしたかったから
	3. 子どもができた(妊娠していることがわかった)から	12. 家を守る必要があったから
	4. 家族を持ちたかったから	13. 家から出たかったから
	5. 精神的な安らぎの場を持ちたかったから	14. 仕事や家事の負担を減らしたかったから
	6. 一人でいるのは寂しかったから	15. 老後が心配だったから
	7. 社会的に認められたかったから	16. 結婚に失敗した経験があり、次こそは幸せになりたいと思ったから
	8. 経済的な安定を得たかったから	17. その他(_____)
	9. 両親や親類を安心させたかったから	

問 12 あなた方ご夫婦・カップルの仲について、次の中から最もあてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

夫婦・カップルの仲	1. たいへん仲は良い 2. 仲は良い方だと思ふ 3. 仲はふつうだと思ふ 4. あまり仲はよくないと思ふ 5. かなり仲はよくないと思ふ 6. 現在、離婚もしくは別れることを考えている
-----------	--

◆ 問 13 から問 17 までは、あなたの子どもを持つことへの希望についておうかがいします。

問 13 あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか。次の中からあてはまる番号に○をつけてください(5の「5人以上」に○をつけた方は、その具体的な人数を記入してください)。

理想的な子どもの数	
0. 子どもはいらない	3. 3人
1. 1人	4. 4人
2. 2人	5. 5人以上(____人)

問 14 問 13 で 1 から 5 に○をつけた方にうかがいます。理想的な子どもの数を1人以上とお考えになる理由はなんですか。下の理由のうちから、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由には◎をつけてください。

※最も重要な理由には◎	1. 結婚して子どもを持つことは自然なことだから 2. 子どもを持つことで周囲から認められるから 3. 子どもがいると生活が楽しく心豊かになるから 4. 子どもは老後の支えになるから 5. 子どもは将来の社会の支えになるから 6. 子どもは夫婦・カップルの関係を安定させるから 7. 好きな人の子どもを持ちたいから 8. 夫・妻や親など周囲が望むから 9. その他(_____)
-------------	---

問 15 問 13 で 1 から 5 に○をつけた方にうかがいます。実際には何人の子ども(現在の子どもを含めて)を持つ予定ですか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください(5の「5人以上」に○をつけた方は、その具体的な人数を記入してください)。

予定している子どもの数	
1. 1人	3. 3人
2. 2人	4. 4人
	5. 5人以上(____人)

問 16 問 13 で「0. 子どもはいらない」に○をつけた方と、予定している子どもの数(問 15)が理想的な子どもの数(問 13)より少ない方にうかがいます。子どもを持ちたくない理由は何ですか。または、持つ予定の子どもの数が理想的な子どもの数よりも少ないのはどうしてですか。下の理由から、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由には◎をつけてください。

理想的な子どもを持ちたくない、または ※最も重要な理由には◎	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから 2. 保育サービスが整っていないから 3. 雇用が安定しないから 4. 働きながら子育てができる職場環境がないから 5. 家が狭いから 6. 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから 7. 子どもがのびのび育つ環境ではないから 8. 自分や夫婦・カップルの生活を大切にしたいから 9. 高年齢で生むのはいやだから 10. これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから 11. 健康上の理由から 12. ほしいけれども妊娠しないから 13. 配偶者・パートナーの家事・育児への協力が得られないから 14. 配偶者・パートナーが望まないから 15. 末子が自分(配偶者・パートナー)の定年までに成人してほしいから 16. その他(_____)
-----------------------------------	--

問 17 問 16 で「1. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから」に○をつけた方にうかがいます。あなたにとって、子育てや教育にかかる経済的な負担として大きなものは何ですか。下の理由から、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由には◎をつけてください。

子育てや教育の経済的な負担 ※最も重要な理由には◎	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育にかかる費用(保育所・幼稚園・学童保育等) 2. 学校教育費(入学金、授業料、教材費など) 3. 学習塾など学校以外の教育費 4. 学校塾以外の習い事の費用 5. 通信費(携帯電話の費用など) 6. 食費 7. 衣類・服飾雑貨・生活用品費 8. 住宅費 9. 医療費 10. 子どものための預貯金・保険 11. レジャー・レクリエーション費 12. 妊娠中の出産準備・出産関連費 13. その他(_____)
------------------------------	---

◆ 問 18 から問 31 まではお子さんをお持ちの方(問 9 で 1 人以上とお答えの方)へのご質問、問 32 から問 50 までは未婚の方へのご質問となりますので、お子さんをお持ちでない方は問 50(23 ページ)までお進みください。

◆ 問 18 から問 21 までは、あなたの感じる子育ての喜びと負担についておうかがいします。

問 18 あなたは、子育てに楽しさを感じるときが多いですか、それともつらさを感じるときが多いですか。次の中からあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

子育ての楽しさ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 楽しさを感じるときの方がかなり多い 2. 楽しさを感じるときの方がやや多い 3. つらさを感じるときの方がやや多い 4. つらさを感じるときの方がかなり多い
---------	--

問 19 あなたが、子育てをされていて良かったと思うことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てをされていて良かったこと ※○はいくつでも	
1. 家庭が明るくなる	6. 子育てを通じて自分も精神的に成長する
2. 身近な人がこどもと接して喜ぶ	7. 夫婦・カップルの愛情がより深まる
3. 生活にはりあいができる	8. その他(_____)
4. 子育てを通じて友人ができる	9. 良いと思うことは特にない
5. 子育てを通じて自分の視野が広がる	

問 20 あなたが、子育てをされていて負担に思うことはどんなことですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

子育てをされていて負担に思うこと ※○はいくつでも	
1. 子育てによる身体の疲れが大きい	6. 仕事が十分にできない
2. 子育てによる精神的な疲れが大きい	7. 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない。
3. 子育てに出費がかさむ	8. こどもが病気の時
4. 自分の自由な時間が持てない	9. その他(_____)
5. 夫婦・カップルで楽しむ時間がない	10. 負担に思うことは特にない

◆ 問 21 から問 24 までは小学校入学前の子どもの育児についておうかがいします。未子が小学生以上の方は、子どもが小学校に入学する前の時期の状況をお答えください。

問 21 小学校入学前の子どもの育児における夫・妻の役割について、あなたの考えに近い番号に1つだけ○をつけてください。

育 児 の 役 割	1. もっぱら妻が行う
	2. 主に妻が行うが、夫も行う
	3. 妻も夫も同じように行う
	4. 主に夫が行うが、妻も伝う
	5. もっぱら夫が行う

問 22 あなたとあなたの配偶者・パートナーは、平日・休日それぞれ何時間くらい家事・育児をしています・していましたか。次の()内に数字を記入してください(家事は炊事、洗濯、掃除など日常的なもののみお答えください)。

あなた		配偶者・パートナー	
平日	休日	平日	休日
() 時間	() 時間	() 時間	() 時間
() 分くらい	() 分くらい	() 分くらい	() 分くらい

問 23 夫婦・カップルの家事・育児についておうかがいします。

【男性の方へ】あなたご自身が、配偶者・パートナーと同程度、またはあなたご自身が主として行っている・いたことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【女性の方へ】あなたの配偶者・パートナーが、あなたご自身と同程度、あるいは配偶者・パートナーが主として行ってほしい・ほしかったことは何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

※ 問 1 で性別を 3(答えたくない)とお答えの方は回答不要です。

家事 ※○はいくつでも	育児 ※○はいくつでも
1. 洗濯(物干し・取り入れを含む)	1. 食事の世話をする
2. 料理・炊事	2. おむつを取り替える
3. 食後の片付け	3. 入浴させる
4. ゴミ出し	4. 寝かしつける
5. 日常の買い物	5. 家の中で、話や遊び相手をする
6. 部屋の掃除	6. 散歩など、屋外へ遊びに連れて行く
7. 風呂洗い	7. 日常生活上のしつけ
8. その他()	8. 保育所・幼稚園(日中預けている場所)への送り迎え
9. 行っていた・ほしいことはない	9. 一時預かり保育やベビーシッター等の手配・交渉
10. 配偶者・パートナーはいない・いなかった	10. その他()
	11. 行っていた・ほしいことはない
	12. 配偶者・パートナーはいない・いなかった

問 24 問 23 で「配偶者・パートナーはいない・いなかった」に○をつけなかった方におうかがいします。あなたは①配偶者・パートナーの育児・家事にどの程度期待しています・していましたか。また②どの程度満足しています・していましたか。次の中からあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

①配偶者・パートナーの育児・家事への期待	②配偶者・パートナーの育児・家事への満足
1. 非常に期待している・していた	1. 非常に満足
2. まあまあ期待している・していた	2. まあまあ満足
3. あまり期待していない・していなかった	3. やや不満
4. ほとんど期待していない・していなかった	4. 非常に不満
5. もともと期待していない・していなかった	

◆ 問 25 から問 29までは、お子さんが生まれたときのお仕事の継続状況や仕事と家庭生活のバランスについておうかがいします。

問 25 長子と、複数お子さんがおられる方は末子が生まれた時の①あなたの年齢をご記入いただき、次に②あなたのおつとめの継続状況について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	①年齢	②おつとめの継続状況
長子が 生まれた時	_____歳	1. 育児休業制度を利用して仕事を継続した。 2. 育児休業制度を利用せずに仕事を継続した。 3. 出産・育児を機に離職した。 4. (ご自身、または配偶者・パートナーの)妊娠がわかったときから無職だった。
末子が 生まれた時	_____歳	1. 育児休業制度を利用して仕事を継続した。 2. 育児休業制度を利用せずに仕事を継続した。 3. 出産・育児を機に離職した。 4. (ご自身、または配偶者・パートナーの)妊娠がわかったときから無職だった。

問 26 問 25 の②で 1 から 3 のいずれかに○をつけた方におうかがいします。長子と末子を妊娠してから生まれるまでのあなたのおつとめの状況について、①おつとめの状況、②職種、③おつとめ先の従業員数について、あてはまる番号に 1 つだけ○をつけてください。

※ 出産・育児を機に離職した方(問 25 の②で3に○を付けた方)は離職する前のおつとめの状況についてお答えください。

※ 男性は、配偶者・パートナーが妊娠してからお子さんが生まれるまでの状況をお答えください。

おたずねの時期 ←	①おつとめの状況						②職種											③おつとめ先の従業員数						
	1 正規の職員	2 パート・アルバイト	3 派遣・嘱託・契約社員	4 自営業種・家族従業者・内職	5 無職・家事	6 学生	1 管理的職業	2 専門的・技術的職業	3 事務職	4 販売職	5 サービス職	6 保安職	7 農林漁業従業者	8 生産工程従業者	9 輸送・機械運転従業者	10 建設・採掘従業者	11 運搬・清掃・包装等従業者	1 1～9人	2 10～29人	3 30～99人	4 100～299人	5 300～999人	6 1000人以上	7 官公庁
長子を妊娠してから生まれるまで	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	1	2	3	4	5	6	7
末子を妊娠してから生まれるまで	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	1	2	3	4	5	6	7

問 27 男性が育児休業制度など、出産・育児に関する休暇をどうすれば取りやすくなると思いますか。あなたの考えにあてはまる番号すべてに○をつけてください。

※○はくしても 男性が育児休業制度等を 取りやすくなるためには	<ol style="list-style-type: none"> 1. 業務が繁忙でなければ 2. 上司・同僚の理解が得られれば 3. 昇給や昇格など、今後のキャリア形成に影響がなければ 4. 休むことによる減収等の心配がなければ 5. 配偶者・パートナーからの要望があれば 6. 男性が家事・育児に参加する意義がわかれば 7. 法的強制力のある仕組みや制度があれば 8. その他(_____)
---------------------------------------	---

問 28 問 25 の②で「3. 出産・育児を機に離職した」に○をつけた方におうかがいします。離職した理由は何ですか。長子・末子のそれぞれについて、下の理由から、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由には◎をつけてください。

出産・育児を機に離職した理由 ※最も重要な理由には◎	
長子が 生まれたとき	<p>1. 会社に出産・育児に関する休暇制度がなかったから</p> <p>2. 会社に出産・育児に関する休暇制度は存在したが、対象外だったから</p> <p>3. 家事・育児に専念するため、自発的にやめた</p> <p>4. 勤務時間が長い(残業など)・不規則など、時間的に両立が難しかったから</p> <p>5. 配偶者・パートナーの勤務地の問題や転勤で、仕事を続けるのが難しかったから</p> <p>6. 職場の両立に対する理解や、両立支援制度が不十分だったから</p> <p>7. 自分や子どもの体調不良など、体力的に両立が難しかったから</p> <p>8. 配偶者・パートナーや家族がやめることを希望したから</p> <p>9. 解雇された、もしくは退職勧奨されたから</p> <p>10. 保育園など子どもの預け先がなかったから</p> <p>11. 仕事にやりがいなかった(なくなりそうだった)から</p> <p>12. 仕事を続けていても、将来的にキャリアの進展が見込めなそうだったから</p> <p>13. 家族の協力が得られなかったから</p> <p>14. その他(_____)</p>
末子が 生まれたとき	<p>1. 会社に出産・育児に関する休暇制度がなかったから</p> <p>2. 会社に出産・育児に関する休暇制度は存在したが、対象外だったから</p> <p>3. 家事・育児に専念するため、自発的にやめた</p> <p>4. 勤務時間が長い(残業など)・不規則など、時間的に両立が難しかったから</p> <p>5. 配偶者・パートナーの勤務地の問題や転勤で、仕事を続けるのが難しかったから</p> <p>6. 職場の両立に対する理解や、両立支援制度が不十分だったから</p> <p>7. 自分や子どもの体調不良など、体力的に両立が難しかったから</p> <p>8. 配偶者・パートナーや家族がやめることを希望したから</p> <p>9. 解雇された、もしくは退職勧奨されたから</p> <p>10. 保育園など子どもの預け先がなかったから</p> <p>11. 仕事にやりがいなかった(なくなりそうだった)から</p> <p>12. 仕事を続けていても、将来的にキャリアの進展が見込めなそうだったから</p> <p>13. 家族の協力が得られなかったから</p> <p>14. その他(_____)</p>

問 29 現在、お仕事をされている方におうかがいします。この 1 年間を振り返って、あなたはご自分の仕事と家庭生活のバランスについてどう感じていますか。次の①から③の項目のそれぞれについて、あなたのお気持ちにあてはまる番号に 1 つだけ○をつけてください。

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらともいえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	現在、仕事を していない
① 仕事で疲れ切ってしまって、しなければならない家事や育児ができなくなっていると感じる。	5	4	3	2	1	0
② 仕事に充てる時間が長すぎるために、家事や育児を果たすことが難しくなっていると感じる。	5	4	3	2	1	0
③ 家事や育児の負担があるために、仕事に集中することが難しくなっていると感じる。	5	4	3	2	1	0

問 30 あなた(親)から見た、あなたのお子さんやお子さんを取りまく環境について、次の①から⑫の項目はあなたにとって、それぞれどの程度あてはまるか○をつけてください。

	非常にあてはまる	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらとも 言えない	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない	全くあてはまら ない
① 私のこどもは、暮らしている地域で、新たな発見や刺激が得られる。	7	6	5	4	3	2	1
② 私のこどもは、暮らしている地域で、身近に自然を感じることができる。	7	6	5	4	3	2	1
③ 私のこどもにとって自宅には、心地のいい居場所がある。	7	6	5	4	3	2	1
④ 私のこどもは、近所の方に感謝することが多い。	7	6	5	4	3	2	1
⑤ 私のこどもは、身体的に健康な状態である。	7	6	5	4	3	2	1
⑥ 私のこどもは、日々の生活において、笑うことが多い。	7	6	5	4	3	2	1
⑦ 地域の保育所、幼稚園などで、こどもは安心して過ごすことができる。	7	6	5	4	3	2	1
⑧ 地域の児童館、子育て広場、公園などで、こどもを安心して遊ばせることができる。	7	6	5	4	3	2	1
⑨ こどもの個性を理解して、関わってくれる人がたくさんいる。	7	6	5	4	3	2	1
⑩ 地域には、こどもの個性にあわせて、多様な学びや経験を支援してくれる場がある。	7	6	5	4	3	2	1
⑪ 地域には、こどもにあった多様な進学の実績がひらかれている。	7	6	5	4	3	2	1
⑫ 将来、こどもが幸せな暮らしを送ることに期待できる。	7	6	5	4	3	2	1

問 31 あなたのお子さんはどれくらい幸せだと思いますか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とすると何点くらいになると思いますか。次の中からあてはまる数字 1 つに○をつけてください。

あなたから見た、あなたのお子さんの幸福度											
とても 幸せ	～				ふ つ う	～				とても 不幸	わ か ら な い
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	11

- ◆ 以降、問 32 から問 49 までは未婚の方(問4で2とお答えの方)へのご質問となります。既婚の方は問 50(23 ページ)までお進みください。
- ◆ 立ち入った内容も含まれますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。
- ◆ 問 32 から問 35 まではあなたの年齢など、基本的な事項についておうかがいします。

問 32 あなたの年齢について、下線の欄に数字を記入してください。

年 齢	_____ 歳
--------	---------

問 33 あなたの①在学・卒業の別と、②その学校について、あてはまる番号 1 つに○をつけてください。

	①在学・卒業の別	②在学中の方→現在在学中の学校 卒業の方→最後に卒業した学校
あ な た	1. 現在、在学中(休学等を含む) 2. すでに卒業	1. 中学校 2. 男女共学の高校 3. 男女別学の高校 4. 専修・専門学校 5. 短大・高専 6. 女子大学 7. 共学の大学 8. 大学院 9. その他(_____)

問 34 あなたのおつとめの状況についておたずねします。あなたの現在の①おつとめの状況、おつとめの場合(1 から 4 に○をつけた方)は②職種、③おつとめ先の従業員数について回答欄のあてはまる番号に○をつけてください(お仕事が複数の場合、主たる仕事を対象)。※ ②職種の例を 32 ページに掲載しておりますのでご参考としてください。

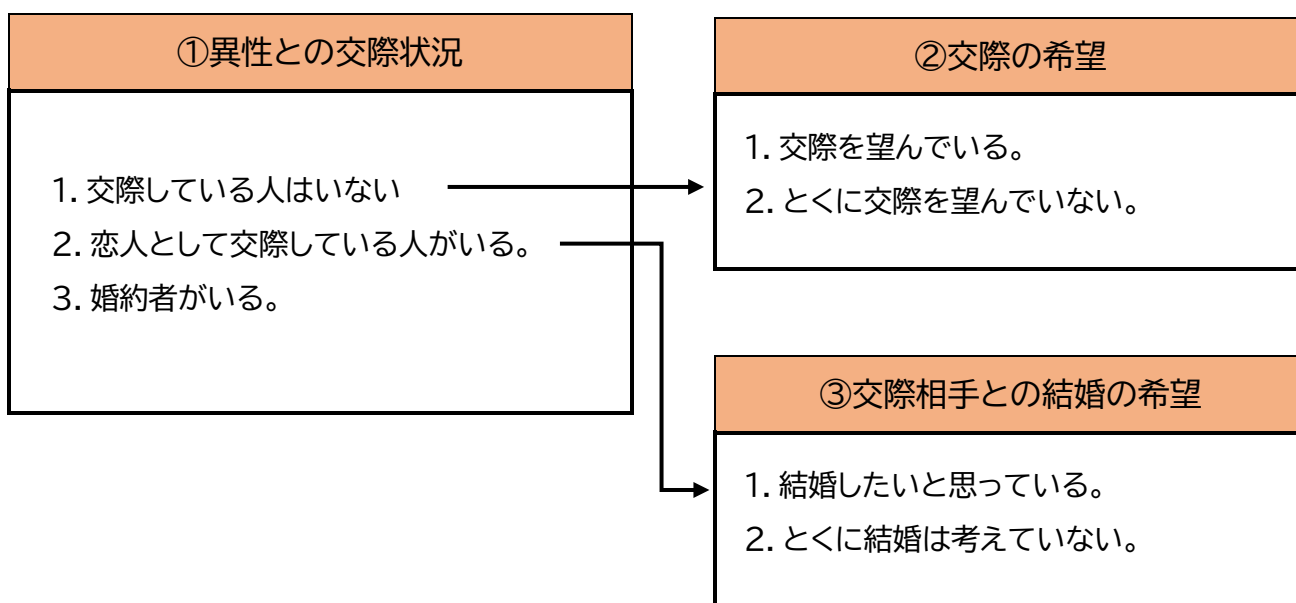
①おつとめの状況						②職種											③おつとめ先の従業員数									
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	1	2	3	4	5	6	7			
正規の職員	パート・アルバイト	派遣・嘱託・契約社員	自営業種・家族従業者・内職	無職・家事	学生	管理的職業	専門的・技術的職業	事務職	販売職	サービス職	保安職	農林漁業従業者	生産工程従業者	輸送・機械運転従業者	建設・採掘従業者	運搬・清掃・包装等従業者	1 人	1 0 ～ 2 9 人	3 0 ～ 9 9 人	1 0 0 ～ 2 9 9 人	3 0 0 ～ 9 9 9 人	1 0 0 0 人 以上	官 公 庁			
★①で1～4に○をつけた方のみ、あてはまる番号に○をつけてください。																										
1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	1	2	3	4	5	6	7			

問 35 あなたの現在のお仕事(収入を伴うもの。複数ある場合、主たる仕事を対象)についておたずねします。次の①から④には該当する数字を記入し、⑤については、あてはまる番号1つに○をつけてください。

あなたのお仕事について (収入を伴う仕事に就いている場合ご記入ください)	
① 勤務する日1日の平均的な労働時間	1日あたり平均_____時間_____分 ※残業時間を含めてください。
② 帰宅時間 (自営業は就業時間)	1. 午前 } _____時頃 ※午前・午後・不規則のいずれかに○をつけてください。 2. 午後 } ※1か2を選んだ方は平均的な帰宅時間 3. 不規則 (0~12時までで表記)を記入してください。
③ 1週間の平均的な労働日数	週あたり平均_____日
④ 現在の仕事の勤続または継続年数	およそ_____年 ※1年未満の場合は1年としてください。
⑤ 昨年(2023年)の年収 ※あてはまる番号1つに○をつけてください。	0. 1~99万円 1. 100万円台 2. 200万円台 3. 300万円台 4. 400万円台 5. 500万円台 6. 600万円台 7. 700万円台 8. 800万円台 9. 900万円台 10. 1,000万円以上 11. なし

◆ 問 36 から問 39 までは、あなたの交際経験等についておうかがいします。

問 36 あなたは①交際している方(恋人として交際)がいますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。また、その回答の後の矢印にしたがって、②交際の希望、③交際相手との結婚希望について回答してください。



問 37 あなたのこれまでの交際経験(恋人として交際)についておたずねします。次の中からあてはまる番号に○をつけてください。

①恋人として 交際した経験	※あるとお答えの方 ②交際相手の性別
1. ある 2. ない	1. 男性 3. 答えたくない 2. 女性

問 38 問 36 の①で2から3に○をつけた方におうかがいします。最も親しい交際相手とはどのようなきっかけでお知り合いになりましたか。次の中からあてはまる番号 1 つに○をつけてください。

出 会 い の き っ か け	1. 職場や仕事の関係、アルバイト先 2. 幼なじみ、隣人関係 3. 学校 4. 学校以外のサークル、習い事 5. 見合い(親戚、上司の紹介も含む) 6. 友人や兄弟姉妹の紹介	7. 民営の結婚相談所、インターネット上の婚活サイト 8. マッチングアプリ・SNS 9. 自治体が主催する婚活イベントや結婚支援サービス(マッチングシステムなど) 10. パーティや合コン 11. その他(_____)
--------------------------------------	---	--

問 39 問 36 の①で1に○をつけ、さらに②で「1. 交際を望んでいる」に○をつけた方におうかがいします。交際相手との出会いを求めるとしたら、どんな機会があるとよいですか。次の中からあてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

交際相手との出会いの機会 ※○はいくつでも	
1. 友人・知人に紹介を頼む(紹介をうける) 2. 職場の同僚や先輩・後輩に紹介を頼む(紹介をうける) 3. 親族等に紹介を頼む(紹介をうける) 4. 趣味のサークルや習い事で知り合う 5. 合コンやパーティに行く 6. 交際相手を紹介してくれる民営の結婚支援サービスを利用する	7. 民営の婚活サイトなどのインターネットサイトや SNS、マッチングアプリを利用する 8. 結婚関係ボランティアの仲介人(県・市町村の世話やき人など)に紹介してもらう 9. 自治体が主催する婚活イベントや結婚支援サービスを利用する 10. その他(_____) 11. 特にない

◆ 問 40 から問 41 までは、あなたの子どもを持つことへの希望についておうかがいします。

問 40 あなたは、①子どもは何人くらいほしいですか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。また 1 人以上のお子さんを持ちたい方は、②最初の(次の)お子さんを持ちたい年齢を下線の欄に記入してください。

①希望する子どもの数		②最初の(次の)お子さんを持ちたい年齢	
0. 子どもはいらない	3. 3人	あなたが ()歳くらいのとき	
1. 1人	4. 4人		
2. 2人	5. 5人以上()人		

問 41 **希望する子どもの数が 1 人以上の方(問 40 の①で 1 から 5 に○をつけた方)**におうかがいします。子どもを 1 人以上ほしいとお考えになる理由はなんですか。下の理由のうちから、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由には◎をつけてください。

※最も重要な理由には◎	1. 結婚して子どもを持つことは自然なことだから 2. 子どもを持つことで周囲から認められるから 3. 子どもがいると生活が楽しく心豊かになるから 4. 子どもは老後の支えになるから 5. 子どもは将来の社会の支えになるから 6. 子どもは夫婦・カップルの関係を安定させるから 7. 好きな人の子どもを持ちたいから 8. 交際相手や親など周囲が望むから 9. その他()
-------------	--

◆ 問 42 から問 48 までは、あなたの結婚に関する意識についておうかがいします。

問 42 自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは次のうちどちらですか。あてはまる番号に○をつけてください。

結婚に対する考え①	
1. いずれ結婚するつもり	→問43～問47
2. 一生結婚するつもりはない	→問48

問 43 問 42 で「1. いずれ結婚するつもり」に○をつけた方におうかがいします。同じく自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。あてはまる番号に○をつけてください。

結婚に対する考え②
1. ある程度の年齢までには結婚するつもり
2. 理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない

問 44 問 42 で「1. いずれ結婚するつもり」に○をつけた方におうかがいします。あなたは何歳くらいのときに結婚したいと思いますか。希望する年齢を下線の欄に記入してください。

結婚したい年齢
あなたが()歳くらいのとき

問 45 問 42 で「1. いずれ結婚するつもり」に○をつけた方におうかがいします。あなたが今後結婚したいと思う理由は何ですか。下の理由のうちから、あてはまる番号すべてに○をつけ、その中で最も重要な理由には◎をつけてください。

結婚したい理由 ※最も重要な理由には◎	
1. 好きな人と一緒に生活をしたいから	10. 好きな人と同じ名字・姓にしたいから
2. 子どもが欲しいから	11. 家を守る必要があるから
3. 家族を持ちたいから	12. 家から出たいから
4. 精神的な安らぎの場を持ちたいから	13. 仕事や家事の負担を減らしたいから
5. 一人でいるのは寂しいから	14. 老後が心配だから
6. 社会的に認められたいから	15. 結婚に失敗した経験があり、次こそは幸せになりたいと思っているから
7. 経済的な安定を得たいから	16. その他()
8. 両親や親類を安心させたいから	
9. 両親や知人など周囲にした方がよいと言われるから	

問 46 問 42 で「1. いずれ結婚するつもり」に○をつけた方におうかがいします。あなたは結婚相手を決めるとき、次の①から⑧の項目についてどの程度重視しますか。それぞれあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

① 相手の学歴	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
② 相手の職業	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
③ 相手の収入など経済力	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
④ 相手の人柄	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
⑤ 相手の容姿	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
⑥ 相手の年齢	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
⑦ 共通の趣味の有無	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
⑧ 自分の仕事に対する理解と協力	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない
⑨ 家事・育児に対する能力や姿勢	1. 重視する	2. 考慮する	3. あまり関係ない

問 47 問 42 で「1. いずれ結婚するつもり」に○をつけた方におうかがいします。あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。ご自分に最もあてはまると思われる理由を最高3つまで選んで、右の回答欄に番号を記入してください(すでに結婚が決まっている方は「最大の理由」欄に「13」と記入してください)。

右の番号欄に番号を記入	1. 結婚するにはまだ若すぎるから 2. 結婚する必要性をまだ感じないから 3. 今は、仕事(または学業)にうちこみたいから 4. 今は、趣味や娯楽を楽しみたいから 5. 独身の自由さや気楽さを失いたくないから 6. 適当な相手にまだめぐり会わないから 7. 異性と出会う機会そのものがないから 8. 異性とうまくつき合えないから 9. 結婚資金が足りないから 10. 結婚生活のための住居のめどがたたないから 11. 親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から 12. その他() 13. すでに結婚が決まっている
-------------	--

回答欄 ※番号を記入		
最大の理由	第二の理由	第三の理由

問 48 問 42 で「2. 一生結婚するつもりはない」に○をつけた方におうかがいします。今後、積極的に結婚したいと思わない理由について、次の①から⑪の項目はそれぞれどの程度あてはまるか○をつけてください。

	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	ややあてはまらない	あてはまらない
① 結婚相手として条件をクリアできる人の巡り合えそうにないから	5	4	3	2	1
② 結婚するほど好きな人に巡り合っていないから	5	4	3	2	1
③ 名字・性が変わるのが嫌・面倒だから	5	4	3	2	1
④ 結婚という形式にこだわる必要性を感じないから	5	4	3	2	1
⑤ 結婚に縛られたくない、自由でいたいから	5	4	3	2	1
⑥ 今のままの生活を続けた方が安心だから	5	4	3	2	1
⑦ 結婚生活を送る経済力がない・仕事が不安定だから	5	4	3	2	1
⑧ 仕事・家事・育児・介護を背負うことになるから	5	4	3	2	1
⑨ 仕事を優先したい・キャリアを中断したくないから	5	4	3	2	1
⑩ 誰かと一緒に生きていきたいと思わないから	5	4	3	2	1
⑪ 結婚・恋愛に失敗した経験があり、もうしたくないと思うから	5	4	3	2	1

◆ 問49は、自治体が運営するマッチングシステムについておうかがいします。

問 49 結婚相手・パートナーを見つけるために、①自治体がマッチングシステムを活用した支援を行うことについてどのように感じますか。また、抵抗感がある方(3から4に○をつけた方)は②その理由は何ですか。①はあてはまる番号1つに、②はあてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

①自治体が運用する マッチングシステムへの抵抗感	②自治体が運用するマッチングシステムに 抵抗感がある理由 ※○はいくつでも
1. 抵抗感がまったくない 2. 抵抗感があまりない 3. 抵抗感が少しある 4. 抵抗感が大いにある	1. 個人情報の漏えいに不安があるから 2. 第三者にプライベートな情報を公開することに不安があるから 3. 希望する相手に出会えないと思うから 4. 費用や支援内容がよくわからないから 5. マッチングで結婚相手・パートナーを見つけることに抵抗があるから 6. その他()

- ◆ 問 50 以降は共通項目となりますので、既婚・未婚の区別に関係なくお答えください。
- ◆ 問 50 から問 51 までは、あなたの思う結婚することのメリット・独身生活のメリットについておうかがいします。

問 50 あなたにとって、結婚することには何か利点があると思いますか。左下のあてはまる番号に○をつけてください。「1. 利点があると思う」に○をつけた方は、右側の枠の中から具体的な利点を2つまで選んで右の回答欄に番号を記入してください。

結婚することに利点は・・・	具体的な利点 ※右の回答欄に番号を記入	回答欄 ※番号を記入				
1. 利点があると思う 2. 利点はないと思う	1. 経済的に余裕がもてる 2. 社会的信用を得たり、周囲と対等になれる 3. 精神的な安らぎの場が得られる 4. 現在愛情を感じている人と暮らせる 5. 自分の子どもや家族をもてる 6. 性的な充足が得られる 7. 生活上便利になる 8. 親から独立できる 9. 親を安心させたり周囲の期待にこたえられる 10. その他 (_____)	<table border="1"> <tr> <th style="text-align: center;">最大の利点</th> <th style="text-align: center;">第二の利点</th> </tr> <tr> <td style="height: 40px;"></td> <td style="height: 40px;"></td> </tr> </table>	最大の利点	第二の利点		
最大の利点	第二の利点					

問 51 それでは逆に、あなたにとって独身生活には結婚生活にはない利点があると思いますか。左下のあてはまる番号に○をつけてください。「1. 利点があると思う」に○をつけた方は、右側の枠の中から具体的な利点を2つまで選んで右の回答欄に番号を記入してください。

独身生活に利点は・・・	具体的な利点 ※右の回答欄に番号を記入	回答欄 ※番号を記入				
1. 利点があると思う 2. 利点はないと思う	1. 行動や生き方が自由 2. 異性との交際が自由 3. 金銭的に裕福 4. 住宅や環境の選択の幅が広い 5. 家族を養う責任がなく、気楽 6. 友人などとの広い人間関係が保ちやすい 7. 職業をもち、社会とのつながりが保てる 8. 現在の家族とのつながりが保てる 9. その他 (_____)	<table border="1"> <tr> <th style="text-align: center;">最大の利点</th> <th style="text-align: center;">第二の利点</th> </tr> <tr> <td style="height: 40px;"></td> <td style="height: 40px;"></td> </tr> </table>	最大の利点	第二の利点		
最大の利点	第二の利点					

◆ 問 52 では、あなたの理想とする女性のライフスタイルについておうかがいします。

問 52 下の枠の中に女性の生き方のタイプがいくつか示してあります。それぞれ、最も近いと思われるタイプの番号を下の枠から選び、回答欄に記入してください。

※ 結婚されている方は 1 を選択しないでください。

※ 問 1 で性別を 3(答えたくない)とお答えの方は回答不要です。

【女性の方へ】

①あなたの理想とする人生はどのタイプですか

②理想は理想として、実際になりそうな(現在なっている)あなたの人生はどのタイプですか。

	①理想とする人生	②実際になりそうな(なっている)人生
女性回答欄		

【男性の方へ】

妻、または妻となる女性にはどのようなタイプの人生を送ってほしいと思いますか。

	妻または妻となる女性に望む人生
男性回答欄	

上の回答欄に番号を記入	1. 結婚せず、仕事を続ける 2. 結婚するが子どもは持たず、仕事を続ける 3. 結婚し、子どもを持つが、仕事も続ける 4. 結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産を機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ 5. 結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産を機会に退職し、その後は仕事を持たない 6. その他 (_____)
-------------	---

◆ 問 53では、子どもが生まれる年齢や不妊治療の希望についておうかがいします。

問 53 あなたは、①女性は何歳まで子どもが生まれると思いますか。また、②自然に妊娠できなかった場合、不妊治療を行いたいと思いますか。①は下線の欄に数字を記入し、②はあてはまる番号に○をつけてください。

①女性が子どもを生まれる年齢
(_____)歳まで

②不妊治療の希望
1. 治療を望む 2. 治療したいが、経済的・時間的余裕がない 3. 治療したいとは思わない

◆ 問 54 から 56 では、結婚・妊娠・子育て支援で何が重要とお考えかおうかがいします。

問 54 結婚を希望する人を支援する施策として何が重要だと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものをいくつでも選んで○をつけてください。

※ ただし、「8. 特にない」を選んだ方は他に○をつけしないでください。

結婚を希望する人への支援 ※○はいくつでも	
1. 雇用対策をもって、安定した雇用機会を提供すること	5. 結婚すると活用できるような税制を行うこと
2. 賃金を上げて、安定した家計を営めるよう支援すること	6. 企業のワーク・ライフ・バランスを促進する政策を充実させること
3. 結婚や住宅に対する資金貸与や補助を行うこと	7. その他(_____)
4. 行政が婚活イベントを開催する、結婚相手のマッチングを支援するなど出会いの場を提供すること	8. 特にない

問 55 妊娠・出産時の身体的・精神的・経済的負担を軽減する施策として何が重要だと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものをいくつでも選んで○をつけてください。

※ ただし、「9. 特にない」を選んだ方は他に○をつけしないでください。

妊娠・出産時の負担を軽減する施策 ※○はいくつでも	
1. 出産費用を助成することにより、自己負担を減らす・なくすこと	6. 妊産婦や乳幼児の健康相談・保健指導など母子保健サービスを充実させること
2. 産科の医療体制を充実させること	7. 家事援助などを行うヘルパーの訪問サービスを充実させること
3. 不妊治療に対して助成すること	8. 妊娠から出産、子育てまでの医療、相談、支援などを一か所の窓口で総合的に受けられる公的サービスの充実
4. 妊娠中の健康診断を無料で受けられるようにすること	8. その他(_____)
5. 産前・産後の休業期間を拡大すること	9. 特にない

問 56 育児を支援する施策として何が重要だと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものをいくつでも選んで○をつけてください。

※ ただし、「19. 特にない」を選んだ方は他に○をつけしないでください。

育児を支援する施策 ※○はいくつでも

1. 保育所や放課後児童クラブなど、各自のニーズに合わせた保育サービスの充実
2. 子育て家庭等の育児不安に対する相談・援助や、子育てサークルなどの親子が気軽に集うことのできる場の提供
3. 教育費の支援、軽減
4. 小児医療の充実
5. 公園など、子どもを安心して育てられる環境の整備
6. 雇用の安定
7. 企業のワーク・ライフ・バランスを促進する政策を充実させること
8. 男性の育児休業の取得促進
9. 育児休業中の所得保障の充実
10. 育児休業や短時間勤務などの制度利用がキャリアのハンデとならないための取組
11. 出産・育児による退職後の職場復帰の保障の充実
12. 子育ての経済的負担を軽減するための手当の充実や税制上の措置
13. ひとり親家庭への支援の充実
14. 3人以上の子どもがいる世帯への支援の充実
15. 子どもの居る世帯への住宅費の支援
16. 子どもを生み・育てることの喜び、楽しさの啓発
17. 子どもに対する犯罪の防止など、地域における治安の確保
18. その他(_____)
19. 特にない

問 57 下の①から⑮に結婚、男女関係、家庭についてのいろいろな考え方の例を示しました。それぞれについて、あなたご自身はどのようにお考えでしょうか。それぞれの右の欄であな
たのご意見に最も近い番号 1 つに○をつけてください。

	賛成である	やや賛成である	どちらともいえない	やや反対である	反対である
① 男性は外で働き、女性が家の中で家事を支えるべきである	5	4	3	2	1
② 女性は結婚後は仕事をセーブ～辞めるべきである	5	4	3	2	1
③ 女性は出産後は仕事をセーブ～辞めるべきである	5	4	3	2	1
④ 男性にある程度の収入がないと結婚すべきでない	5	4	3	2	1
⑤ 女性よりも男性の方が良い大学・教育を受けるべきである	5	4	3	2	1
⑥ 事実婚や同棲よりも結婚（法律婚）すべきである	5	4	3	2	1
⑦ お見合いや婚活サイト等よりも自然な恋愛結婚が望ましい	5	4	3	2	1
⑧ 男女とも結婚（法律婚）して一人前と認めるべきである	5	4	3	2	1
⑨ 男女とも子どもを持って一人前と認めるべきである	5	4	3	2	1
⑩ 結婚したら夫婦で同じ名字・姓を名乗るべきである	5	4	3	2	1
⑪ 女性は仕事や家事で忙しくても外見や美容に気を遣うべきである	5	4	3	2	1
⑫ 男性は仕事や家事で忙しくても外見や美容に気を遣うべきである	5	4	3	2	1
⑬ 長男がお墓を守るべきである	5	4	3	2	1
⑭ 長子が家を継ぐ・家を守るべきである	5	4	3	2	1
⑮ 長男の嫁は、長男の嫁としての役割を果たすべきである	5	4	3	2	1

問 58 あなたの身近な状況(既婚の方は結婚前までの状況)についておたずねします。以下の①から③について、それぞれ右の欄のあてはまる番号 1 つに○をつけてください。質問項目に該当する相手がいない(いなかった)場合は1に○をつけてください。

	あてはまる	どちらかといえはあてはまる	どちらかといえはあてはまらない	あてはまらない	該当しない
① 赤ちゃんや小さい子どもとふれあう機会がよくあった	5	4	3	2	1
② 両親のような夫婦関係をうらやましく思う・思っていた	5	4	3	2	1
③ 結婚しているまわりの友人をみると、幸せそうだと思う・思っていた	5	4	3	2	1

問 59 震災による子どもへの影響として、心配なことがありますか。次の中からあてはまる番号にいくつでも○をつけてください。

※ ただし、「12. 特にない」を選んだ方は他に○をつけしないでください。

震災により心配される子どもへの影響 ※○はいくつでも	
1. 運動不足	8. 家庭や保育所等での食材の安全性
2. 外遊び・自然体験の不足	9. 震災後に不安を感じることによるストレス
3. 学習時間の減少や学習環境の悪化	10. 生活習慣の乱れ
4. 震災体験が子どもの心に与える影響	11. その他(_____)
5. 友達関係の変化	12. 特にない
6. 家族関係の変化	
7. 子どもの健康	

問 60 下の①から⑩に、生活環境や地域の人間関係、ライフスタイルなどに関する項目を示しました。それぞれについて、あなたやあなたがお暮らしの地域はどの程度あてはまりますか。それぞれの右の欄であなたの感覚と最も近い番号1つに○をつけてください。

	非常にあてはまる	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない	全くあてはまらない	
① 私の暮らしている地域は、医療機関が充実している。	7	6	5	4	3	2	1
② 私の暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない。	7	6	5	4	3	2	1
③ 私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している。	7	6	5	4	3	2	1
④ 私の自宅には、心地のいい居場所がある。	7	6	5	4	3	2	1
⑤ 私の暮らしている地域では、適度な費用で住居を確保できる。	7	6	5	4	3	2	1
⑥ 私の暮らしている地域では、公共交通機関で、望む時に望むところへ移動ができる。	7	6	5	4	3	2	1
⑦ 私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある。	7	6	5	4	3	2	1
⑧ 私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い。	7	6	5	4	3	2	1
⑨ 私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる。	7	6	5	4	3	2	1
⑩ 私の暮らしている地域では、教育環境（小中高校）が整っている。	7	6	5	4	3	2	1

★次ページに続きます。

★前ページからの続きです。

	非常に あてはまる	あてはまる	あてはまる と どちらかといえば	どちらか といえば 言えない	どちらか といえば あてはまらない	あてはまらない	全く あてはま らない
⑪ 私の暮らしている地域では、通学しやすい場所に学校がある。	7	6	5	4	3	2	1
⑫ 私の暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である。	7	6	5	4	3	2	1
⑬ 私の暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい。	7	6	5	4	3	2	1
⑭ 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある。	7	6	5	4	3	2	1
⑮ 私の暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる。	7	6	5	4	3	2	1
⑯ 私の暮らしている地域は、防犯対策（交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい	7	6	5	4	3	2	1
⑰ 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である。	7	6	5	4	3	2	1
⑱ 私は、同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している。	7	6	5	4	3	2	1
⑲ 私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである。	7	6	5	4	3	2	1
⑳ 私の暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる。	7	6	5	4	3	2	1
㉑ 私は、町内（集落）の人が困っていたら手助けをする。	7	6	5	4	3	2	1
㉒ 私は、この町内（集落）に対して愛着を持っている。	7	6	5	4	3	2	1
㉓ 私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある。	7	6	5	4	3	2	1
㉔ 私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある。	7	6	5	4	3	2	1
㉕ 私の暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい。	7	6	5	4	3	2	1
㉖ 私は将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい。	7	6	5	4	3	2	1
㉗ 私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある。	7	6	5	4	3	2	1
㉘ 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい。	7	6	5	4	3	2	1
㉙ 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある。	7	6	5	4	3	2	1
㉚ 私の暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある。	7	6	5	4	3	2	1
㉛ 自分のことを好ましく感じる。	7	6	5	4	3	2	1
㉜ 私は、身体的に健康な状態である。	7	6	5	4	3	2	1
㉝ 私は、精神的に健康な状態である。	7	6	5	4	3	2	1
㉞ 私は、経済的に余裕がある。	7	6	5	4	3	2	1

問 61 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とすると、何点くらいになると思いますか。次の中からいずれかの数字 1 つに○をつけてください。

あなたの幸福度										
とても 幸せ	～				ふ つ う	～				とても 不幸
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

問 62 現在、あなたは、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。「とても満足」を 10 点、「とても不満足」を 0 点とすると、何点くらいになると思いますか。次の中からいずれかの数字 1 つに○をつけてください。

住んでいる地域の暮らしの満足度										
とても 満足	～				ふ つ う	～				とても 不満足
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

問63 福島県は子どもを生子・育てやすい県だと思いますか。あなたの考えにもっとも近い番号 1 つに○をつけてください(お子さんのいない方は、親の立場に立ったと仮定してお答えください)。

福島県は子どもを生子・育てやすい県である
5. そう思う
4. どちらかといえば、そう思う
3. どちらとも言えない
2. どちらかといえば、そう思わない
1. そう思わない

◆ 結婚、妊娠・出産、子育てについて、みなさまが導入してほしい、あるいは充実してほしいと感じる取組はありますか。下の欄に自由にご記入ください。

☆☆☆ご協力ありがとうございました☆☆☆

【参考】 職種の概要と職業の例

◆管理的職業従事者	概要	経営体の全般または課（課相当を含む）以上の内部組織の経営・管理の仕事に従事するもの。
	例	管理的公務員（課長相当職以上）、法人・団体役員、法人・団体における課長相当職以上など。
◆専門的・技術的職業従事者	概要	高度の専門的水準において、科学的知識を応用した技術的な仕事に従事するもの、および医療・教育・法律・宗教・芸術・その他の専門的性質の仕事に従事するもの。
	例	研究者、技術者、保健医療従事者、社会福祉専門職業従事者、法務従事者、経営・金融・保険専門職業従事者、教員、宗教家、著述家・記者・編集者、美術家・デザイナー・写真家・映像撮影者、音楽家・舞台芸術家など。
◆事務従事者	概要	課長（課長相当職を含む）以上の職務にあるものの監督を受けて、庶務・文書・人事・調査・企画・会計などの仕事に従事するもの、および事務用機器の操作の仕事に従事するもの。
	例	一般、会計、生産、営業・販売、外勤、運輸・郵便その他の事務従事者、事務用機器操作員など。
◆販売従事者	概要	商品・不動産・有価証券などの売買の仕事、売買の仲立・取次・代理などの販売類似の仕事、営業の仕事に従事するもの。
	例	商品販売従事者、販売類似職業従事者、営業職業従事者など。
◆サービス職業従事者	概要	家事サービス、介護・身の回り用務・調理・接客・娯楽など個人に対するサービス、および他に分類されないサービスの仕事に従事するもの。
	例	家庭生活支援・介護・保健医療・生活衛生等サービス職業従事者、飲食物調理従事者、接客・給仕職業従事者、居住施設・ビル等管理人、その他のサービス職業従事者など。
◆保安職業従事者	概要	国家の防衛、社会・個人・財産の保護、法と秩序の維持などの仕事に従事するもの。
	例	保安職業従事者（自衛官、警察官、消防員）など。
◆農林漁業従事者	概要	農作物の栽培等、家畜・家きん・その他の動物の飼育、林木の育成等、水産動植物の捕獲等をする仕事、およびこれらに関連する仕事に従事するもの。
	例	農業従事者、林業従事者、漁業従事者など。

★次ページもあります。

★前ページからの続きです。

◆生産工程従事者	概要	生産設備の制御・監視の仕事、機械・器具・手道具などを用いて原料・材料を加工する仕事、各種の機械器具を組立・調整・修理・検査する仕事、製版・印刷・製本の作業、生産工程で行われる仕事に関連する仕事に従事するもの。
	例	製品製造・加工処理従事者、機械組立従事者、機械整備・修理従事者、製品検査従事者、機械検査従事者、生産関連・生産類似作業従事者など。
◆輸送・機械運転従事者	概要	機関車・電車・自動車・船舶・航空機などの運転・操縦の仕事、およびその他の関連する仕事、ならびに定置機関・機械および建設機械を操作する仕事に従事するもの。
	例	鉄道運転従事者、自動車運転従事者、船舶・航空機運転従事者、その他の輸送従事者、定置・建設機械運転従事者など。
◆建設・採掘従事者	概要	建設の仕事、電気工事に係る作業を行う仕事、ダム・トンネルの掘削などの仕事、鉱物の探査・試掘・採掘・採取・選鉱の仕事に従事するもの。
	例	建設・土木作業従事者、電気工事従事者、採掘従事者など。
◆運搬・清掃・包装等従事者	概要	主に身体を使って行う定型的な作業のうち、運搬・配達・梱包・清掃・包装等の仕事に従事するもの。
	例	運搬従事者、清掃従事者、包装従事者、その他の運搬・清掃・包装等従事者など。